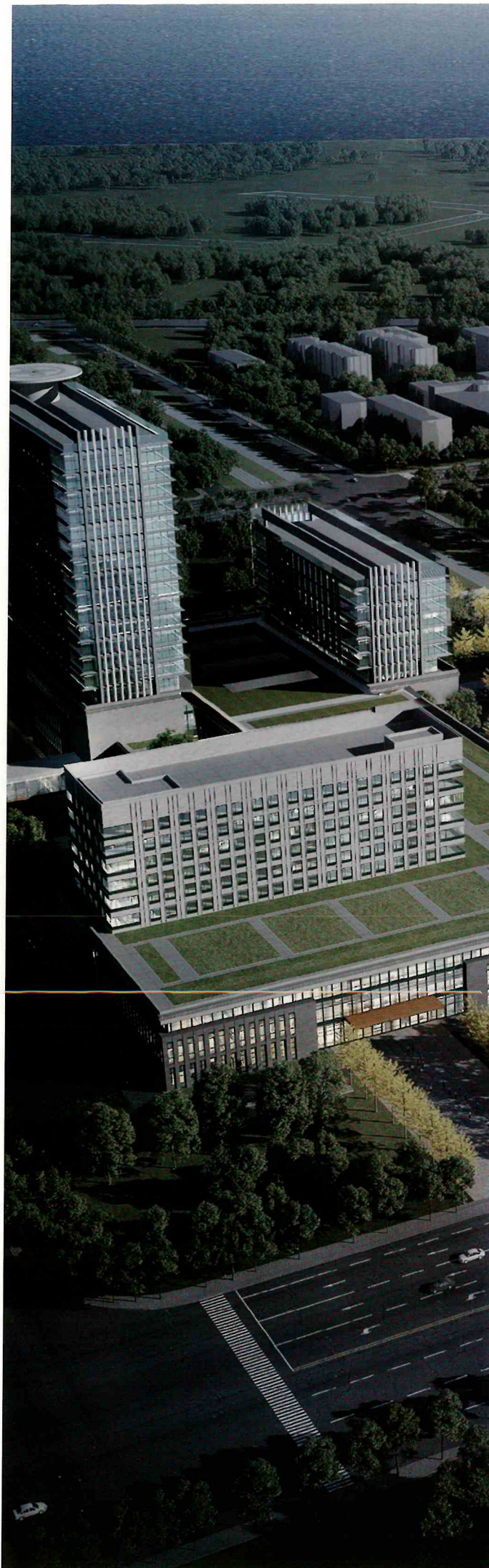


中日(天津)健康産業国際協力モデル区



目次

一、天津市の概況.....	01
二、静海区の概況.....	02
三、協力モデル区の概況.....	04
(一) 発展の位置づけ.....	04
(二) 発展目標.....	05
(三) 産業の基盤.....	06
(四) 機能的な配置.....	10
四、協力領域.....	24
(一) 活力エリア.....	24
(二) 医療教育エリア.....	26
(三) イノベーションエリア.....	28
(四) 生命エリア.....	30
(五) 本部経済.....	31
(六) 先進製造基地.....	32





天津市の概況

天津市は、首都北京から120キロ離れており、我が国が最も早く直轄市とした主要都市の一つである。環渤海地区の経済の中心、国際的な交通の要衝、中国・モンゴル・ロシアの経済回廊の重要な拠点、海上シルクロードの戦略的拠点でもある。また、「一帯一路」の交差点、アジア欧州大陸橋に最も近い東部の起点であり、我が国が初めて開放した沿海都市であり、北東アジア地域の協力における重要な窓口でもある。

党中央および国務院は、「北京・天津・河北協同発展国家戦略」の中で、天津市に「一拠点三区」という役割を与えた。すなわち「全国先進製造研究開発拠点」「北方国際水上運輸の中核区」、「金融イノベーションのモデル区」、「改革開放先行区」である。

静海区概況



静海区は、天津市が管理する16の区の一つであり、2200年以上前から行政府置かれ、文字通り「滄海桑田」のように1500km²の沖積平野を生み出し、80万近い人々の生産及び生活を支えている。今日の静海区は、北京・天津・河北協発展戦略に主体的に取り組み、国際的な基準、中国の特色、雄安新区（最先のスマートシティ）へのサービスを維持しながら、新しい局面を途絶えず切り替えている。

静海区では、すでに大健康、循環型経済、先進製造、商業物流、都市農業、文観光という6つの産業を形作っており、その特色と優位性は群を抜いている。また、民間企業による取引も活発である。現在、静海区はすでに「第14次五カ年画」にて決定された全面発展の道を歩み始めており、先進製造イノベーション区、グリーン発展リード区、健康生活モデル区、共同富裕実行区の構築に向け力を入れている。



天津友発鋼管グループ



尚藥堂大健康産業グループ



天津博世豊通科技有限公司



愛瑪科學技術有限公司

静海区は、大健康、循環型経済、新材料、ハイエンド装備製造の4大産業に焦点を当て、産業チェーンの補強と構築に力を入れている。次世代情報通信技術とデジタル経済、バイオ医薬品を含めた2つの「新たな産業チェーン」を育成し、特ある食品、省エネ・環境保護、組立式建築、クリーンエネルギーとクリーンエネルギー自動車を含めた4つの「短周期の産業チェーン」の育成を進めている。また非金属材料、ハイエンド装備、ハイエンド金属製品の製造を含めた3つの「結びきの強い産業チェーン」を最適化及び向上させ、産業チェーンの主な企業を育てるとともに、「川上及び川下産業」、「生産・供給・販売」の全体的な組み合わせの構築を推進している。

協力モデル区の概況

(一) 発展の位置づけ



2020年6月30日協力モデル区の除幕式の模様

協力モデル区全体の敷地面積は38.55km²になっており、健康産業イノベーション区、健康生活先行区、国際協力モデル区を構築するために、年齢に応じた多様なライフサイクルの人々、そして全ての人々が、住みやすく、仕事や商売に適し、旅行に適した「エコロジーの城」「健康の城」、「理想の城」を構築する。



- 京津冀協同發展健康産業モデル区
- 京津冀(天津)中医薬産業拠点
- 中国医学科学院革新拠点
- 北京の非首都機能引き継ぎプラットフォーム



モデル区概況

(二) 発展目標



2025年までの目標として、一定の産業規模を
発展、結集させ、合理的な配置を施した区域を
建設する。そして、都市サービス機能を備え、エコ
ロジーに配慮した住みやすさを実現し、完備し
た管理制度の基礎を形作る。

2025年

2035年



2035年までの目標として、都市産業の融合、
健康的で智慧溢れる街並みを作る。そして、北
京、天津、河北地域の産業の発展をリードする、
現代化モデル区を建設する。



2050年までの目標として、強い国際影響力
を持つハイレベルの国際協力モデル区にした上
で、健康産業革新交流センター、健康的なライフ
スタイルを創造したモデルケースを総力あげて
建設する。

2050年

(三) 優位性の基盤

1 / 区域の優位性

- ・ 北京まで150キロ
- ・ 天津の中心地まで10キロ
- ・ 雄安新区まで70キロ
- ・ 天津空港まで30キロ
- ・ 北京大興空港まで120キロ
- ・ 天津南站まで10キロ
- ・ 計画中の津雄高速鉄道、津滄城間静海ハブ駅まで5キロ
- ・ 天津市郊外の津静線が完成した場合、10分以内に市内の中心に到着することができる。



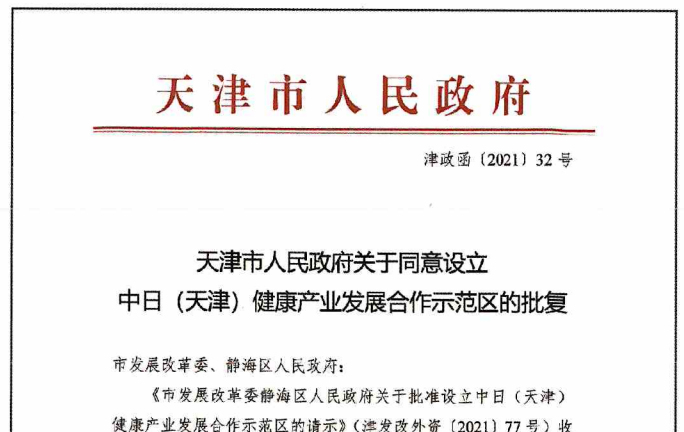
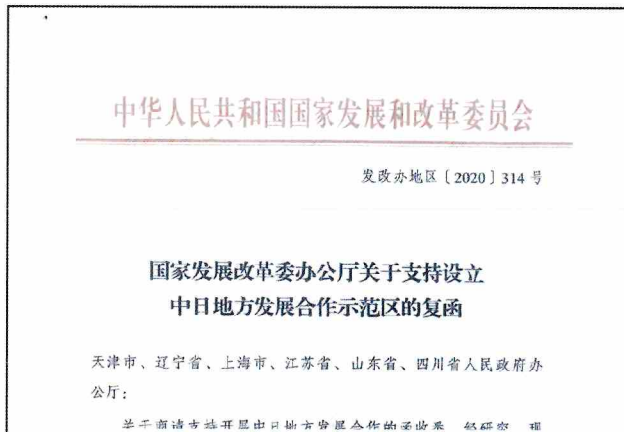
2 / エコロジーの優位性

- ・ 中国湿地自然保護区に指定
- ・ 雄安浜海回廊のエコロジーの接点「緑宝石」
- ・ 团泊鳥類自然保護区に指定
- ・ 中国温泉の城

3 / 協力の優位性

国際協力交流のメカニズムは、日を増すごとに整い、国家、地方、モデル区、行政機構の4つの階層において形作っている。

日本企業の誘致活動を一貫して継続し、オリックスグループ、日本貿易振興機構(ジェトロ)、住友商事、三菱UFJ銀行などの日本の機構、企業と交流協力を行っている。日本福祉大学、日本太平洋コンサルティングなどの大学機関と積極的に連携し、Suisonia、日航ホテルなどとは、対日協力プロジェクトの成約に至っている。2021年10月30日、在中国日本国大使館垂秀夫大使は、協力モデル区を視察した際、モデル区を高く評価し、日中協力の新しいモデルとするべきだとした。



4 / 基礎産業

医療

現在、「中国医学科学技術革新システム中核天津拠点」、「天津中医薬大学第三附属病院」などのハイエンド医療プロジェクトが建設中である。これらの施設は、北京、天津、河北地域から全国に至るまでの医療レベルの向上にとって、重要な意義を持っている。

豊富な医療資源



協和天津医院



王辰院士



天津中医薬大学第三附属病院



張伯礼院士



天津医科大学



天津中医薬大学



天津体育学院



北京師範大学附属中学校



天津体育職業学院



天津体育運動学校

教育

天津医科大学、天津中医薬大学、天津体育学院などの大学が入り、教育科学研究における重厚な布陣が敷かれる。

豊富な教育資源

スポーツ

区域内には、団泊スポーツセンター、団泊サッカー場、国際テニスセンターなど23カ所のスポーツ関連施設が建設されており、東アジア競技大会、第13回全国運動会（中国の「国体」に相当）、WTA（女子テニス協会）ツアー天津オープンなどの国内外の重要な試合の会場として使用された。

**スポーツ資源は
万全。**



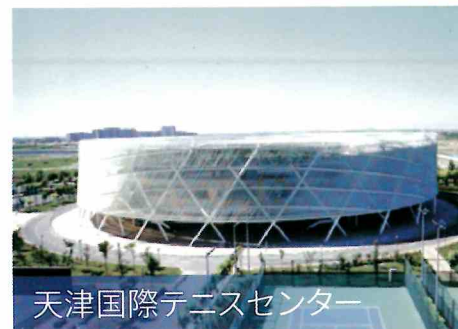
天津団泊スポーツセンター



サマランチ記念館



団泊サッカー場



天津国際テニスセンター



康寧津園



運動リハビリ医療センター

康養

「康寧津園」は、全国初の大規模な総合高齢者介護プロジェクトであり、「医療と介護を結合させた新モデル」「介護サービス業の総合改革の先行事業」として国務院から表彰を受けた。

斬新な介護モデル

モデル区の発展した産業の基盤に立脚し、医療、教育、スポーツ、康養産業分野における優位性に基づいた仕組みを取り入れている。独立した医学検査、健康科学研究の応用、特色あるスポーツ経済などの産業を重点的に発展させ、多様なライフサイクルの人々、そして全ての人々向けの健康産業と全産業の産業チェーンを形成する。

(四) 機能的な配置

協力モデル区を、科学技術イノベーションの中核とし、団泊新城地区を牽引するため「静海高新産業園」、「中徳大邱庄生態城」、「子牙経済技術開発区」などの3つの製造拠点を連動させ、「一中核三拠点」の発展様式を形作り、「産業、学術、研究、応用、医療」の全産業チェーンの態勢を構築した。



協力モデル区は、「一帯一軸四エリア」(下記参照)として重点的に配置した。

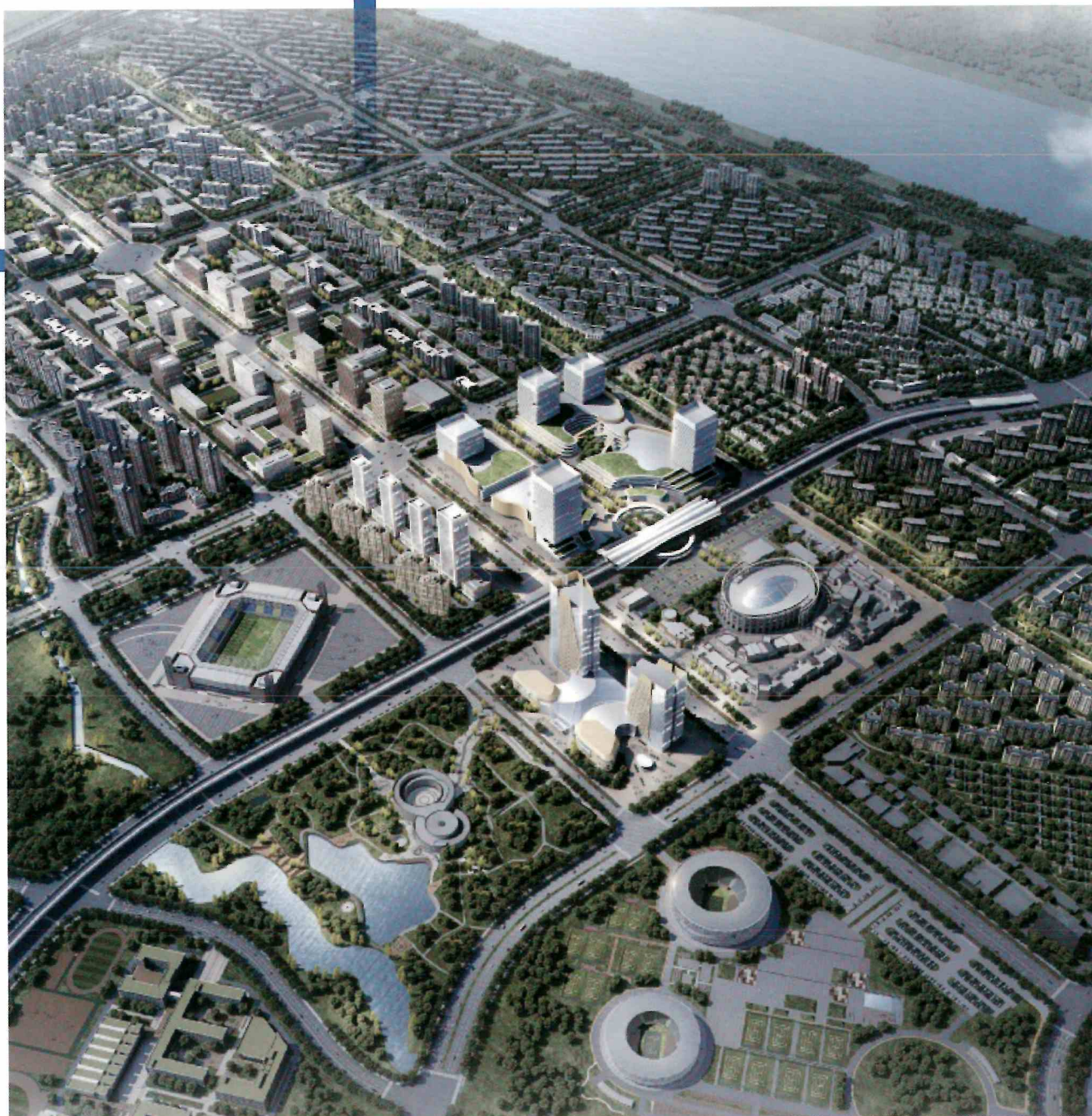
一帯とは:
团泊湿地生態帯

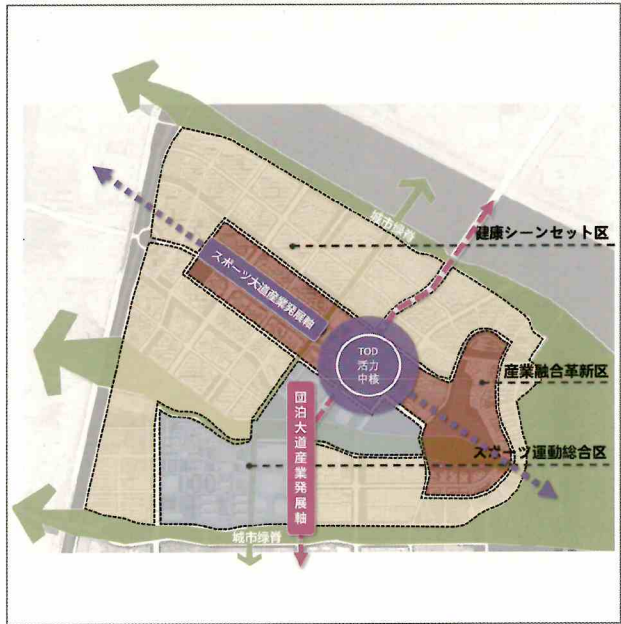
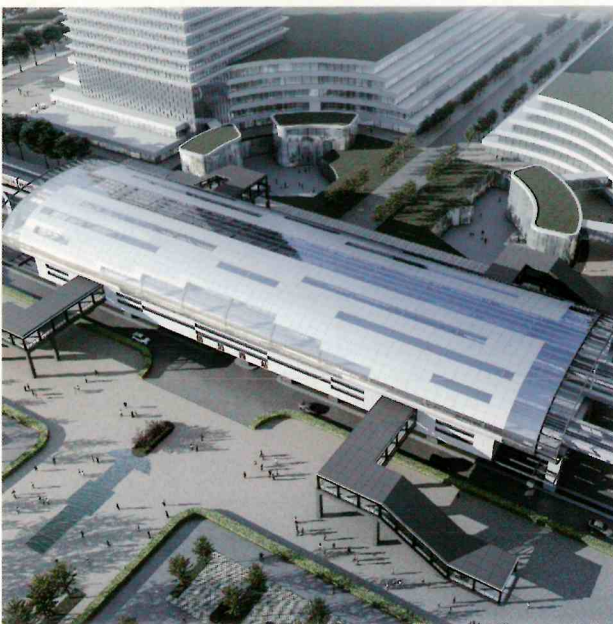
一軸とは:
团泊大道都市發展軸

四エリアとは:
活力エリア、医療文教エリア、イノベーションエリア、生命エリア



活力エリア





活力エリアは、協力モデル区の北部に位置し、敷地面積は11.8km²、既に建設された面積は5.8km²であり、協力モデル区健康生活先行区の中核として設計された。活力あるTOD(車に頼らず、公共交通機関の利用を前提に組み立てられた都市開発)ビジネスの中心、またスポーツおよびメインストリートの計画の発展軸という、二つの牽引力をもって、ビッグデータプラットフォームを参考に、地域の良質な景観と結びつけて計画された。スポーツレジャー、文化展覧会、逸品ショッピング、健康的な居住環境などの都市機能を集め、「商業、旅行、文化、体育、知能、住居」を一体化した健康活力生活レジャー区を作り、「一つの中核、二つの発展軸、三つの区域、四つの回廊」を構築する。

医療文教エリア



医療文教エリアは、協力モデル区の中部に位置し、敷地面積は7.63 km²で、すでに建設された面積は6.58 km²となっている。協力モデル区健康産業革新区国際協力交流区の中核として、診療サービス、医薬研究開発、医学教育をリードする役割を果たす。健康、そして人間らしい診療の新しいプラットフォームを積極的に探求し、「中国医療と西洋医療の双空母」国際医学センターを構築する。



協和天津医院



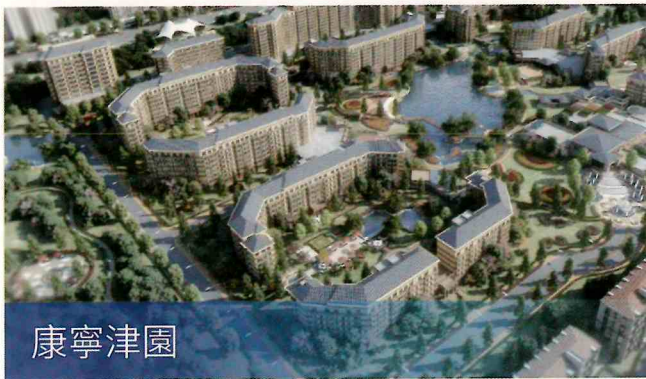
天津中医薬大学



天津医科大学



天津体育学院



康寧津園

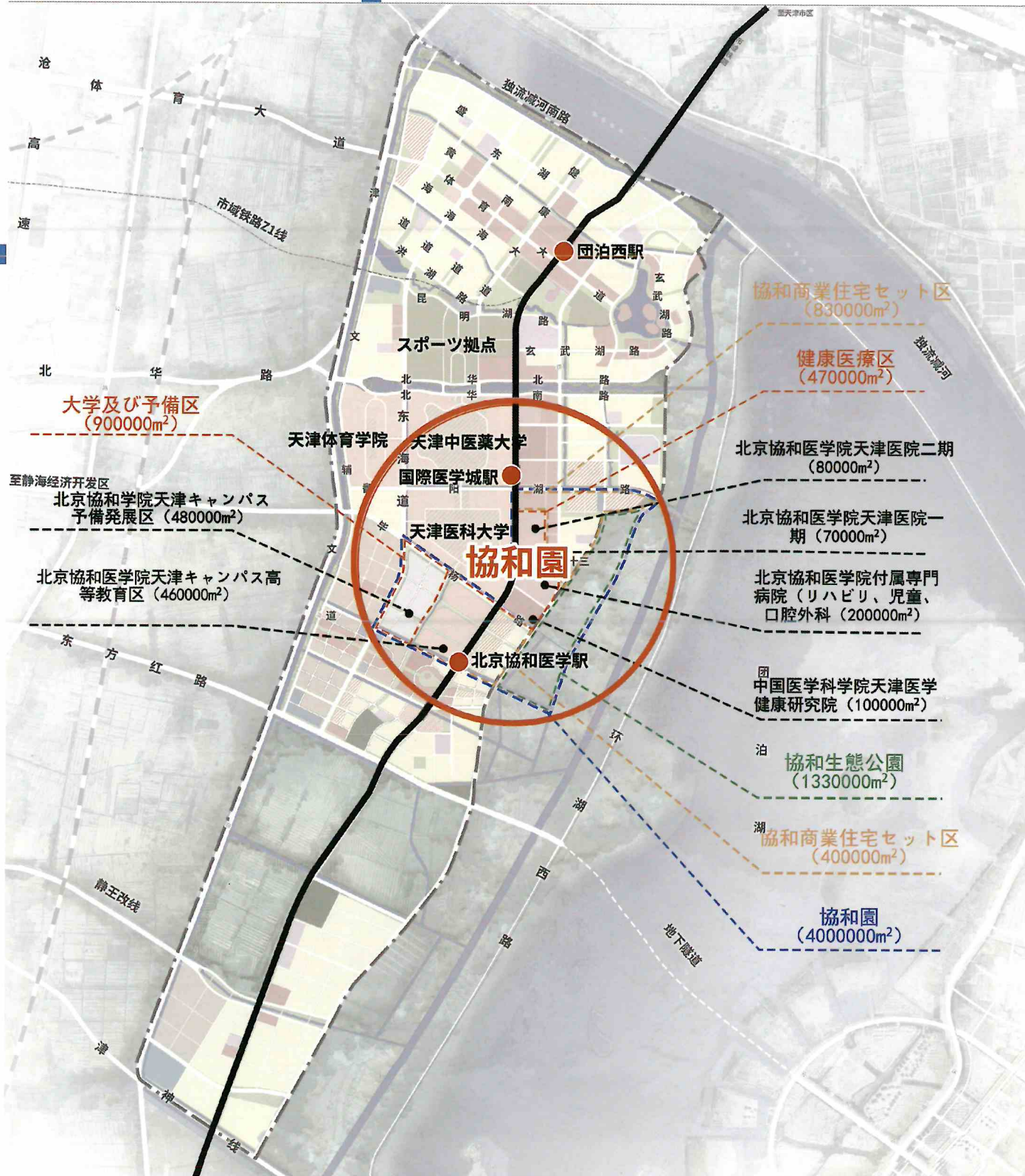


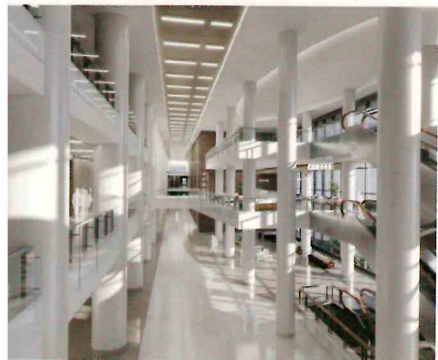
天津市中医薬大学第三附属医院



医療文教エリア

協和園





協和園の敷地面積は約4.0 km²(そのうち、中国医学科学技術革新システムの中核拠点である天津拠点の敷地面積は約1.42 km²、計画セットサービス用地は約1.23 km²、エコロジー用地は約1.33 km²)の予定であり、投資総額は約200億元。協和園の良質な資源を活用し、医学、教育、研究、産業の総合的な発展をリードし、「政治、産業、学術、研究、応用、金融、サービス」の効率的な連動を促進する。天津拠点を、中国国内トップ、世界一流の医学科学技術革新システムの中核拠点にするべく、医療センター、科学研究センター、医学教育センター、健康産業センターの建設に全力を尽くす。

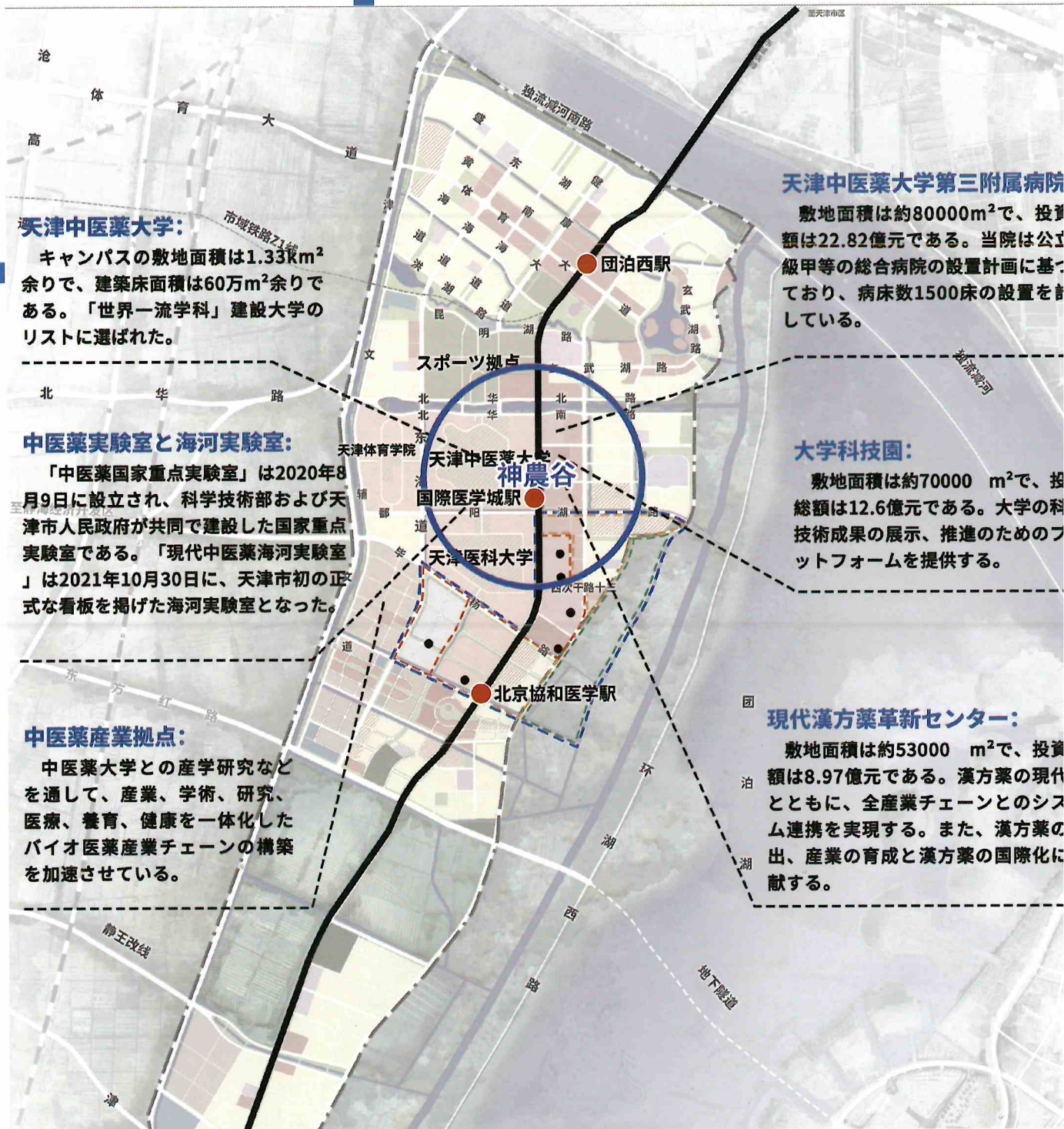
「天津拠点」プロジェクトは、北京、天津、河北地域の協同発展における重要なプロジェクトといえる。これは、中国の医学科学技術革新システムの中核拠点の構築に関する習近平総書記の重要な指示および精神を、深く貫徹・実行する具体的な措置である。この拠点構築により、医療衛生サービスに対する人々の需要を、よりよく満たすことができる重要なプロジェクトになる。

2021年5月10日、天津市政府は、正式に中国医学科学院、北京協和医学院との協力協定に署名し、同市に「中国医学科学技術革新システム中核天津拠点」を共同建設することとなった。具体的には、北京協和医学院医学センター、中国医学科学院天津医学健康研究院と北京協和病院天津キャンパスを建設する。これらは、北京の非首都機能移転のシンボリックなプロジェクト及びシステム転換であり、天津市における「第14次5カ年計画」期間の最大の社会事業プロジェクトという意味において、重大で、影響力のあるものとなる。





神農谷



天津中医药大学:
 キャンパスの敷地面積は1.33km²余りで、建築床面積は60万m²余りである。「世界一流学科」建設大学のリストに選ばれた。

中醫薬実験室と海河実験室:
 「中醫薬国家重点実験室」は2020年8月9日に設立され、科学技術部および天津市人民政府が共同で建設した国家重点実験室である。「現代中醫薬海河実験室」は2021年10月30日に、天津市初の正式な看板を掲げた海河実験室となった。

中醫薬産業拠点:
 中醫薬大学との産学研究などを通して、産業、学術、研究、医療、養育、健康を一体化したバイオ医薬産業チェーンの構築を加速させている。

天津中醫薬大学第三附属病院
 敷地面積は約80000m²で、投資額は22.82億元である。当院は公立Ⅰ級甲等の総合病院の設置計画に基づいており、病床数1500床の設置を前している。

大学科技园:
 敷地面積は約70000 m²で、投資総額は12.6億元である。大学の科学技術成果の展示、推進のためのプラットフォームを提供する。

現代漢方薬革新センター:
 敷地面積は約53000 m²で、投資額は8.97億元である。漢方薬の現代とともに、全産業チェーンとのシステム連携を実現する。また、漢方薬の輸出、産業の育成と漢方薬の国際化に貢献する。

神農谷の開発敷地面積は約1.48km²で、投資総額は100億元。産業、学術研究、応用、種子の開発の一体化を成し遂げ、漢方薬と全産業のチェーンを構築漢方薬産業の発展をリードしたい。

//// //// //// //// //// 中日(天津)健康産業国際協力モデル区



中医国際療養センタープロジェクト



中日ハイエンド健康管理センタープロジェクト



国際医療革新センタープロジェクト



国際医療MALLプロジェクト



現代中医薬革新センター



天津中医薬大学キャンパス

中日産業園



中日産業園:

敷地面積は約1.33 km²で、中日産業園を建設するため、協和天津病院、協和医学健康研究院、協和天津キャンパス、中医薬大学、医科大学の良質な科学研究資源を用いて、「政治、産業、学校、研究、応用、資本、サービス」を効率的に連動させた。科学技術研究開発、革新的な育成プログラム、バイオ医薬品、漢方薬、金融サービス、人工知能などを取り扱う中小企業を誘致し、百億元にのぼる一大健康産業体グループを形成する。北京、天津、河北地域の健康産業の本社機能や、青年が革新的な業態を創出できるような拠点の建設に取り組み、中日交流の重要な窓口の開設や、産業間の融合を促進した新たなモデルケースとしたい。

中日生活エリア:

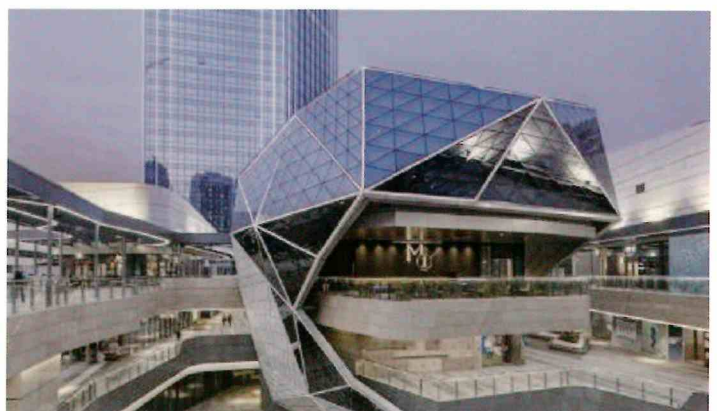
敷地面積は約0.12km²で、中国と日本のビジネスを行う上で、高品質な居住環境を構築するため、国内外の良質なサービス業関連会社の誘致を実現したい。駅とオフィスを機能的に結びつけて、ビジネス業務、商業サービスなどがシームレスに動く区域を建設する。商業的集約地としての新しい模範とし、スマートビジネスエリアの新しいモデルとしたい。また、ハイレベルな公共サービス施設と、国際関連施設を建設し、効率的で利便性の高い通勤手段、平日にも試合が行えるレジャースポーツネットワーク、便利で快適なコミュニティネットワークを構築し、国際的でハイエンドな人材を誘致したい。そして、中日の人材コミュニティを構築し、優雅なライフスタイルを実現できる新しい場を提供し、快適で暖かい生活空間を築いていく。

イノベーションエリア

番号	プロジェクトの名称
1	会議センター
2	政府総合事務審査・認可ホール
3	技術取引譲渡センター
4	金融人材資源サービスセンター
5	革新育成拠点/総本部拠点
6	総合スタート産業園
7	中核スタートサービス区
8	北京協和医学院天津キャンパス
9	協和医学院予備発展区
10	商業総合体
11	ホテル
12	バイオ医薬革新産業園
13	中医薬革新産業園
14	創智スタートコミュニティ
15	住みやすいコミュニティ
16	落ち着いたコミュニティ
17	農業総合体



イノベーションエリアの敷地面積は5.85 km²。中日(天津)健康産業発展協力モデル区が、協和病院、中医薬第三附属病院などの良質な資源を用いて、科学技術の産業をリードしてゆきたい。イノベーションを実現すべく、産業自体の発展の重視、資源チェーン、資金チェーン、要素チェーン、人材チェーンなど各種チェーンの完備、イノベーションに資する資源と事業体の集約、プラットフォームとキャリア構築を行う。また、「生活、生態、生産の融合」、「産業、学術、研究、医療、介護、応用」を一体化させたバイオ医薬産業の形成、15分間で行き来ができるエリアなどを構築し、新たな経済的なイノベーションを創出する都市を建設したい。



生命エリア



生命エリアは、協力モデル区の南部に位置し、敷地面積は13.27 km²であり、協力モデル区の健康生活先行区の重要な担い手として設置された。習主席が提唱した「緑水青山こそ金山銀山である（豊かな自然は金銀同様の価値がある）」と人類運命共同体を共同建設し、人類の衛生健康における運命共同体を共同建設し、人、自然、生命の共同体を共同建設する」という理念を貫徹・実行する。そして区域の生態系の管理、農村の田園経済、積極的な健康づくりの理念を有機的に結合し、「農業+観光+健康」をテーマとする「都市型田園総合体」の構築を目指す。



協力領域

(一) 活力エリアへようこそ

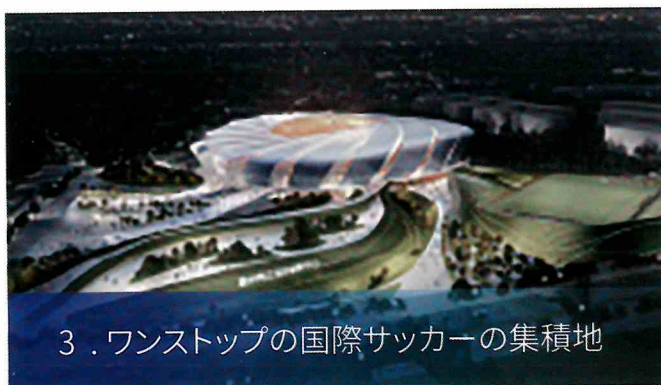
活力エリアの払い下げ可能面積は、約3.49 km²で、現在、団泊競技場、国際テニスセンター、天津体育訓練拠点など23カ所の専門的なスポーツ施設が建設され、大型ショッピングセンター、住宅、関連教育施設などのインフラを完備している。中国活力エリアイノベーションプラットフォーム、科学技術革新育成プラットフォーム、文化独創性産業エリア、中日ウェルビーイング産業スマートシティ、中国国際サッカー技術向上センター、中国国際野球学院と中国水上運動学院などのプロジェクトの建設を計画している。

番号 プロジェクトの名称

- 1 中国バイタリティーエリア革新プラットフォームプロジェクト (団泊西駅TOPインフラ商業)
- 2 科学技術革新育成プラットフォームプロジェクト
- 3 文化独創性産業エリア
- 4 運動健康センター
- 5 スポーツオフィスビジネス区
- 6 五つ星超えホテル
- 7 温泉テーマパークホテル
- 8 ハイエンドコンベンションセンター
- 9 水上スポーツショッピングセンター
- 10 パーエリア
- 11 金融革新サービスセンター
- 12 スポーツ研究開発育成サービスセンター
- 13 健康生活ショッピングプラザ
- 14 中国国際野球訓練拠点プロジェクト
- 15 中国水上スポーツ学院プロジェクト



協力領域



(二) 医療文教エリアへようこそ

医療文教エリアの払い下げ可能面積は、約1.05 km²で、現在天津中医薬大学、天津体育学院、康寧津園などの重要なプロジェクトが建設されている。また、北京協和医学院天津病院、中国医学科学院天津医学健康研究院、天津中医薬大学第三附属病院、現代中医薬革新センターなどの重要なプロジェクトを建設する予定。エリア内の教育資源と医療資源を用いて、仕事や育児に適して、住みやすく、学びやすい医療・教育研究都市を作り上げる。

番号	プロジェクト名称
1	天津中医薬大学第三附属病院
2	大学科学技術園プロジェクト
3	現代中医薬革新センタープロジェクト
4	国際医療革新センタープロジェクト
5	国際医療MALLプロジェクト
6	北京協和医学院天津医院プロジェクト
7	北京協和病院付属口腔外科医院、児童医院、リハビリ医院プロジェクト
8	中国医学科学院天津医学健康研究院プロジェクト
9	中医国際療養センタープロジェクト
10	中国ハイエンド健康診断センター
11	医療総合サービスプロジェクト
12	レジャー療養センタープロジェクト
13	ハイエンド住宅プロジェクト
14	医科大学総合医院プロジェクト
15	ハイエンドホテルプロジェクト
16	総合医院東部インフラプロジェクト



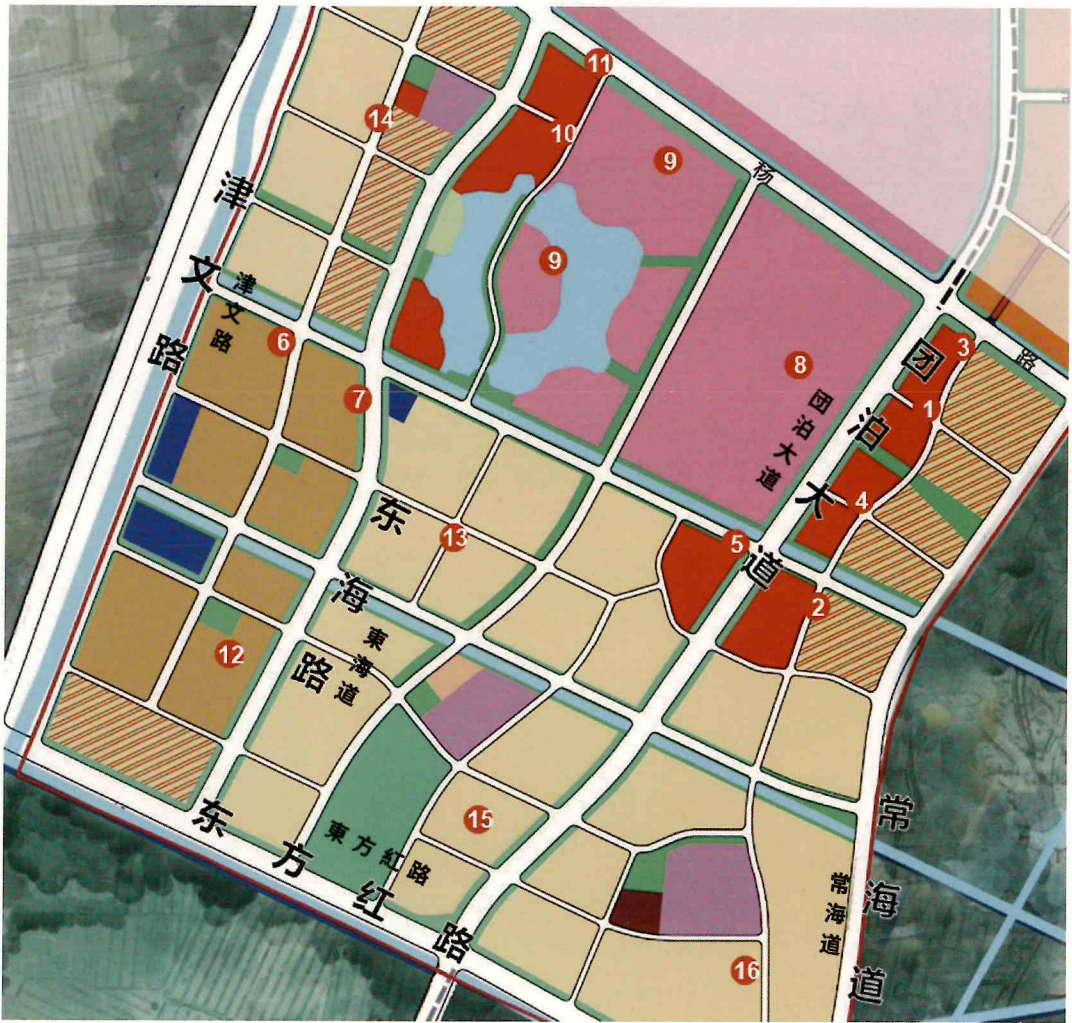
協力領域



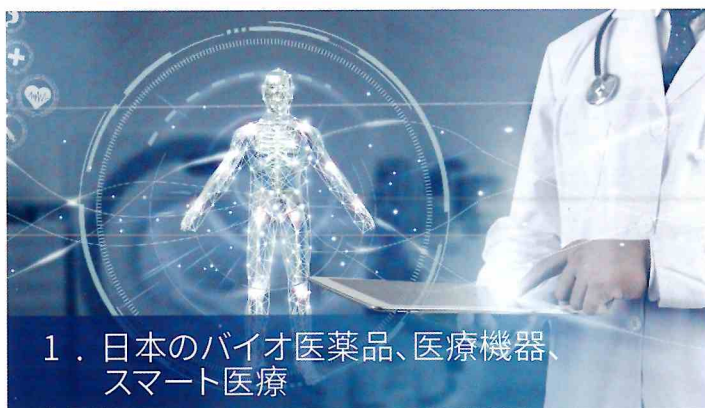
(三)イノベーションエリアへようこそ

イノベーションエリアは、協力モデル区既存の科学技術研究の開発資源を用いて、革新的な技術資源をさらに集約する。そこで、産業園の公共サービス関連革新プラットフォーム、大学における科学技術の成果を転化し育成する産業園、協和病完大学院生のための革新園、バイオ医薬専門園、健康産業博覧館などの重要なプロジェクトを重点的に建設する。

番号	プロジェクト名称
1	会議センター
2	政府総合事務審査・認可ホール
3	技術取引譲渡センター
4	金融人材資源サービスセンター
5	革新孵化器/総本部拠点
6	総合スタート産業園
7	中核スタートサービス区
8	北京協和医学院天津キャンパス
9	協和医学院予備発展区
10	商業総合体
11	ホテル
12	医薬革新産業園
13	創智スタートコミュニティ
14	住みやすいコミュニティ
15	落ち着いたコミュニティ
16	農業総合体



協力領域



(四) 生命エリアへようこそ

生命エリアは、4 km²の農地を用い、「生態環境誘導開発モデル試験」プロジェクトの担い手として、周辺の大学との協力し、漢方薬や農業の専門家や関連の人材に居住してもらい、独創的な農業体験、田園の観光、田園リゾートなどのプロジェクトを実現させたい。また、環境に配慮した、省エネでエコな消費モデルと生活様式を形成するとともに、低炭素生活といった新しいトレンドを作り出し、良好な環境の循環を推し進める。



協力領域



(五) 本部経済へようこそ



大学科学技術園の建築面積は約10000m²で、天津中医薬大学、天津医科大学と天津体育学院などの大学を用いた、科学技術の成果の育成および転化を主たる任務としている。「産業、学術、研究、応用」を一体化させた特色豊かな大健康全産業のチェーンを構築している。



滙海濶園本部の計画建設面積は48779.1m²で、44棟のオフィスビルと関連ホテルを含んでいる。本部は、計画建設中の津静線団泊西駅に隣接し、アクセスは至便である。現在、「中国医学科学技術革新システム中核天津拠点プロジェクトの建設指揮部」、「香港新華グループ」、「太平洋建設グループ」、「カンデラ智能科学技術」、「是源医学科学技術」など10余りの機構および企業が入居している。

六) 先進製造基地へようこそ

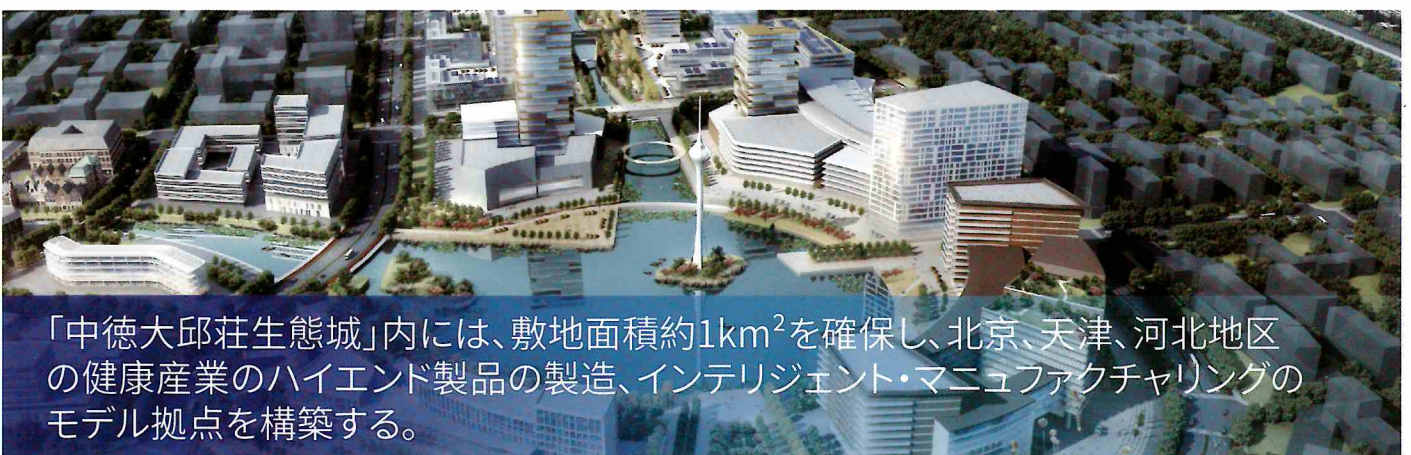
協力モデル区は「静海高新産業園」、「中徳大邱荘生態城」、「子牙経済技術開発区」の製造拠点と連動し、「一つの中核三つの拠点」構想を発展させる。大学における科学技術の革新研究の開発拠点を建設し、ハイエンド医療、教育、研究開発サービスをその基盤として、バイオ医薬、医療機器、再生医学、スポーツ器材、リハビリ補助具、特殊医療用食品に焦点を当て、健康産業の革新的な中核集積区を構築する。



静海高新産業園に、計画面積約1km²の「中日バイオ医薬中小企業産業園」を開発する。



「子牙経済技術開発区」内に、約1km²の払い下げ可能な建設用地を確保し、医療設備、再製造プロジェクトを建設し、公共的な応急体制を構築する。



「中徳大邱荘生態城」内には、敷地面積約1km²を確保し、北京、天津、河北地区の健康産業のハイエンド製品の製造、インテリジェント・マニュファクチャリングのモデル拠点を構築する。



医療 教育 康養 健康商品 本部経済 ハイエンド製造
お問い合わせ:022-68581005 68581011
住所:天津市静海区团泊新城西区健康大道1号